

京都大学医学部附属病院 病院研修生プログラム

京都大学医学部附属病院は次の研修プログラムによる病院研修生を募集します。

1. プログラムの名称
輸血検査・細胞プロセッシング研修Ⅰ（認定輸血検査技師受験資格取得コース）
2. 診療部名
輸血細胞治療部
3. 研修コース名
専門コース
4. 研修プログラムの内容
別紙（研修日程表）のとおり
5. 受講対象者
臨床検査技師免許を有し、認定輸血検査技師資格取得を目指す方。
6. 募集人数
4名／年間（同時4名）
7. 研修期間
2日間
8. 研修時期
研修部門との調整が必要ですので、別途相談
9. 応募期間
いつでも応募受付できます。
10. 研修料
一人につき4,320円（2日間税込）
11. 申請書類
病院研修生受入れ申請書（別紙様式）
（誓約書、履歴書、所属部門長からの推薦書、健康診断書及び免許証のコピーを添付）
12. 出願書類提出先・問い合わせ先
＜提出先＞
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-4
京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 宛
＜問い合わせ先＞
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-4
京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター
TEL：075-751-4839
FAX：075-751-3091

研修日程表

プログラム名称：輸血検査・細胞プロセッシング研修Ⅰ

認定輸血検査技師受験資格取得コース（輸血部）

研修期間（2日間）	研修内容
1. 輸血医学概論（前川）	輸血に関する基礎的教育。
2. 輸血のオーダーから輸血が行われるまで（万木ほか）	診療科：輸血の必要性発生→オーダー入力→検体採取 輸血部：発注→入庫→検査→出庫 診療科：輸血の実際→フォローアップ 手術室の見学、救急部見学、病棟見学
3. 輸血検査技術の習得（万木ほか）	血液照射、フィルターの種類、部門システムの仕組み ・血液型、不規則抗体検査；試験管法、カラム凝集法 ・亜型検査 ・抗体同定；antigram の読み方 ・抗原同定（Rh 式血液型、・・・） ・自己抗体陽性患者の検査
4. 輸血副作用発生時の対応（万木ほか）	・輸血副作用報告体制の完備 ・血液センターへの副作用調査依頼 ・副作用発生時の臨床的対処 ・副作用発生後の輸血
5. 適正輸血	・外科的、内科的輸血における適正輸血 ・自己血輸血への取り組み
6. 輸血管理業務（万木ほか）	・QC の実際 ・血液製剤の保管管理 ・Manual の整備 ・血液製剤使用記録の管理 ・遡及調査への対応と輸血前・後の検体保管体制
7. 特殊業務（前川ほか）	・末梢血管細胞移植の対応 ・輸血療法委員会のもち方と準備

担当診療科

輸血部（細胞治療部門）

：

担当者氏名

前川 平、万木紀美子